

第1回群馬県庁 Re:born 会議 議事概要

(1) 開催日時

令和5年6月25日(日) 15時30分

(2) 場所

群馬県庁 31階 GINGHAM 中央エリア

(3) 出席者数

委員6名、座長(知事)1名、司会(県職員)1名

(4) 議題

県庁舎の新たな可能性について

(5) 委員の主な意見

- 政治家になりたいという人が増えないのも問題と思う。県民広場で青空議会をやって、県民の皆さんに開かれた議会をやることで、市民と政治の距離が縮まって、もっと自分も政治家になりたいと思う人が増えるのではないかな。
- 様々な市町村があるが、その情報が群馬県庁に集まって、情報発信基地があつたらいいのではないかな。
- 県庁ファームのようなものを県民広場に作りたいと考える。野菜王国と言われるほど、野菜の生産が盛んな県だが、旬はいつだとか馴染みがない方も多いと思うので、四季折々の野菜を育てて収穫体験などをみんなで楽しめるイベントができればいいと思う。
- 人気の飲食店が数店舗入ったら嬉しい。気軽に入るファーストフードのような、ファミリーで入れるようなところも数店舗あると、遊びに来やすいと思う。
- 県民の方に広く、行政コン、結婚式を開催する会場として、青空の下で、県庁で結婚式をやってもらうのはどうか。子育て支援とか、婚活の支援とかもやられているが、県庁で結婚式をやるといいと思う。県民としての意識とか、県庁へ親しめるというところで、周りの人も参加して、結婚式をやれたらいいと思った。お金もみんなかけたくないし、スマホとか動画でも記録を残せるので、とりあえずやれる場所があればいいのでは。
- より広く知っていただくために、最近は YouTube ショートがいいと思う。YouTube は若い人から上の層まで結構見られているので、活用すると相性がいいと思う。
- 去年10月に昭和庁舎の壁に映してゲームをした。普通のeスポーツはプロ選手が猛練習してきて激しいバトル繰り広げる。それはそれで楽しいが、私が目指すeスポーツは、昔友達の家で遊び、上手い人も下手くそな人もワイワイ楽しんでいるような、誰でも気軽に参加できる環境を作りたいと思っている。いろんな老若男女が楽しめる場になって、家族の方とか楽しんでいただいて、その場にキッチンカーが出て、お酒を飲みたい人は飲んだりして。今後ゲームに絡めながら、ゲストを呼んで音楽とかもやろうとされていて、そういう形でゲームのイベントを広くしていきたいと考えている。
- 県庁舎でゲームを大画面でやるとか、そういう真面目な建物というイメージからどうずらすかみたいなことで言うと、最終的には八ッ場ダムとか、群馬の持っているいろいろな施設で、ドローンとかで映してみんなで見上げてゲームしたりして、一大イベントにしたいと思っている。
- 群馬県出身のアーティストから選ぶとしているとやっぱり何年も続くイベントはできないと思う。ぐんまちゃんフェスにすれば、ぐんまちゃんというIP(知的財産)のもとに、そこから派生して、全国津々浦々のアーティストを集

める音楽フェスをつくれたら、以降何年も継続できるし、あとぐんまちゃんというキーがあるから群馬県でやるという意味もあるし、盛り上がっていいと思う。

- 群馬はクリエイティブな方が結構多いイメージがあって、桐生とかではアパレル関係の方が移住してきたりという背景もあって、1つのフェスを作り上げるまでに、例えば衣装とかも特別に作ったりして、桐生市とコラボみたいな感じで、作り上げていく過程もSNSで発信して、ということをやっていたら、群馬の産業とかも一緒に盛り上げられるのではないかと思った。
- クリエイティブの人たちが集まる会があるといい。
- アイドルに特化したフェスを多分できていると思っていて、アイドルのファンはすごく若い10代後半20代前半が一番のメインターゲットなので、そういう人たちに県庁に足を運んでいただく機会というのは意味があると思う。
- 若者が群馬県に来るハードルが下がる。やはりアイドルオタクは遠征したい、遠くに行きたいというのがあるので、観光をこれから強化していく中では、若者に1回群馬県に来てもらうイメージがしやすくなって、すごくいいと思う。若者はみんなSNSをやるので、群馬県に寄ったついでにどこかで飲んで帰って、いっぱいツイートとか投稿してくれると思う。

(5) 結論

継続審議